令和５年度　公益財団法人春日井市食育推進給食会事業計画

生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育む基礎を築くため、食育に関する普及・啓発事業及び給食を機会とした食育の推進事業を次のとおり実施する。

１　食育に関する普及・啓発事業

子どもの成長にとって、健全な食習慣の形成が重要であることから、学校給食及び月毎の献立についての目標、食物アレルギーへの対応、食育推進事業の内容等を掲載したリーフレットを作成する。

また、ホームページには、学校及び保育園給食の献立、献立の写真やレシピ、食育推進事業の募集案内や実施結果等を掲載するとともに、よりリアルタイムな情報発信手段として短文投稿サイト（Twitter）に献立の写真や特色、調理場での出来事等の話題を投稿する。

２　給食を機会とした食育の推進事業

食に関心を持ち理解を深めることが、健康の維持増進に重要であることから、食について考え、学び、実践する機会を提供するため、料理教室等の事業を実施する。

事業名	事業内容
学校・保育園給食	成長段階にある小中学生及び保育園児が健やかな体を作り、豊かな人間性を育むことができるように、適切な栄養価を満たした給食を、食品衛生に関する各種法令に基づき、安全かつ安定的に提供する。 小学校（３７校）　実施日１９１日 中学校（１５校）　実施日１９１日 保育園（１６園）　実施日２９３日 地産地消献立、アレルギー対応給食の調理等については、春日井市と連携して実施する。
東部調理場の見学等	給食に関する知識と理解を深めるため、見学通路、研修室及び調理実習が可能な栄養指導室を使用し、調理現場の見学及び給食の試食や調理実習を実施する。

事業名	事業内容
給食レストラン	給食を懐かしみ、味わうとともに、給食への関心を高めるため、少年自然の家で給食献立を提供するレストランを開設する。
夏休み親子料理教室	子どもが家庭で料理するきっかけ作りと、食への関心を高めるため、栄養士や調理員の指導により親子で料理を学ぶ教室を、夏休み期間中に開催する。
調理場探検	東部調理場にて児童が食材の皮むきなど、調理機器を使用した業務の疑似体験を通じて、給食ができるまでの流れや衛生管理について体験的に学ぶ。
食と健康の良い関係	食が健康維持に果たす役割を楽しく学ぶため、９月の健康救急フェスティバルにおいて、食や栄養に関する展示等を、企業と協同し実施する。
保育園の手作りおやつ教室	手作りおやつの良さを知るとともに、家庭での実践を促進するため、栄養士や調理員の指導により、手作りおやつの調理方法を学ぶ教室を開催する。
調理員の献立	普段調理を行っている調理員が献立を考案して提供するとともに、調理員の献立であることを伝えることで、児童生徒が、調理に従事する人への感謝の気持ちを持つとともに、食べ残しの減少につなげる。
わいわいカーニバル「食品について学ぼう！」	子ども又は親子がクイズ等を通じて食品や栄養素等について楽しく学ぶため、わいわいカーニバルにおいてブース出展を行う。
パネル展示「春日井市食育推進給食会」	学校給食、保育園給食、食育推進事業等当会が実施している事業についてＰＲを図るため、市内公共施設でパネル展示を行う。
子どものための料理教室（仮称）	普段から料理をする子どもを対象として、基礎的な料理を学ぶ機会を提供し、能力向上や自分の時間の創出につなげる。

３　組織運営

⑴　事務局の配置

区　分	事務職		栄養士	
	正規	パート	正規	パート
事務局長	１人	―	―	―
企画経営課	７人	―	３人	―

⑵　調理場の配置

区　分	事務職		栄養士		調理職員	
	正規	パート	正規	パート	正規	パート
前　並	１人	１人	１人	１人	１０人	３５人
稲　口	１人	１人	１人	１人	１０人	３５人
東部第1	１人	１人	２人	１人	１２人	５５人
東部第2	１人	１人	２人	１人	１１人	５４人
計	４人	４人	６人	４人	４３人	１７９人

※　育児休業中の職員及びその代替パート職員を含む

⑶　配膳パート職員の配置

区分	人員
小学校（３７校）	１４１人
中学校（１５校）	３３人
計　（５２校）	１７４人

⑷　保育園の配置

区　分	調理職員		区　分	調理職員	
	正規	パート		正規	パート
勝川北部	２人	４人	前　並	２人	２人
柏 原 西	３人	３人	松　原	２人	３人

区　分	調理職員		区　分	調理職員	
	正規	パート		正規	パート
柏　　原	２人	２人	坂 下 南	２人	３人
小　　野	２人	４人	玉　　川	２人	３人
味　　美	２人	２人	桃　　山	２人	１人
大　　手	２人	３人	高　　座	３人	３人
第　　三	２人	４人	藤 山 台	２人	３人
出　　川	２人	３人	計	３５人	４７人
神　　領	３人	４人			